

教育科目	簿記理論 I		教育内容	簿記理論 I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	33 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 工業簿記の原価計算を学ぶ。 2. 全経簿記1級（原価計算・工業簿記）程度の問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に基礎から簿記についての知識を学んでいく。 小テストも行いながら、習得度の確認をして行く。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	桑原知之「日商簿記2級にとおるテキスト・日商簿記2級にとおるトレーニング」 (ネットスクール)						

教育科目	FP 演習		教育内容	FP 演習			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	3. 1年次に学んだFPの知識を生かし、人生の3大資金（教育資金・住宅資金・老後資金）を中心に、様々なケースに応じた的確なコンサルティングを行い問題解決のための提案を行えるようになる。						
授業概要	20代向け保険の見直し相談、30代向け住宅資金の相談、40代向け教育資金の相談に関する相談、50代向け老後資金の相談に関するケーススタディ						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 レポートの内容と平常点をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 保険代理店を営し生命保険や損害保険の実務経験 実務経験を活かし様々なリスク管理面での相談対応等を教授						
使用 テキスト等	なし						

教育科目	経済学Ⅱ		教育内容	経済学Ⅱ			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	25 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>4. 経済学の基本的な知識を習得する。</p> <p>5. 経済全体の基礎的な仕組みがわかるようになる。</p>						
授業概要	<p>経済理論全体の基礎的な考え方を身に付け、マクロ経済学の論理と方法を理解する。 経済主体の最適化行動と市場のメカニズムを理解し、ミクロ経済学の論理を理解する。</p>						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 回・後期 回			前期 回・後期 回			
	<p>評定方法 定期試験と平常点によって評価を行う。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	古沢泰治、塩路悦朗「ベーシック経済学：次につながる基礎固め」(有斐閣)						

教育科目	経営学 I		教育内容	経営学 I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	1 単位
授業目標	6. 経営学の基礎知識を習得する。 7. 実社会にて活かされている理論を見つける。						
授業概要	テキストを使用し、経営学を体系的に学ぶ。 ビジネスの現場における経営学の理論の実例を知る。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	回	後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 定期試験と平常点をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	上林憲雄、奥林康司「経験から学ぶ経営学入門」(有斐閣)						

教育科目	金融演習		教育内容	日経STOCKリーグ		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	35 コマ	単位数 2 単位
授業目標	8. 日経STOCKリーグへの参加に向けて金融について学ぶ 9. 日経STOCKリーグを通して株式投資について体験する					
授業概要	基礎学習とポートフォリオ構築についてグループワークを行う。 日経STOCKリーグへの出場に向けてレポートを作成する					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
評価方法	評価方法 レポートの内容と平常点をもって評価を行う。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	日本経済新聞社「日経STOCKリーグ学習ガイドブック」					

教育科目	ビジネスプラン・演習 I		教育内容	ビジネスプラン・演習 I			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	40 コマ	単位数	2 単位
授業目標	10. ビジネスプラン作成法を習得する。 11. ビジネスプランを作れるようになる。						
授業概要	プラン作成法を学ぶ。 プランを作る。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 レポートの内容と平常点によって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	地域経済プロジェクト・演習 C		教育内容	地域経済プロジェクト・演習 C		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数 2 単位
授業目標	12. 地域経済における課題、問題点を発見する 13. 企画・計画に沿ったプロジェクトを実行する力を養う					
授業概要	地域の抱える課題を発見し解決策となるプロジェクトを考える。 グループワークで自ら発言や行動をする主体性を身に着ける。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評定方法 グループワークの取り組みと平常点をもって評価を行う。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリント等					

教育科目	地域経済演習Ⅲ		教育内容	地域経済演習Ⅲ			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	28 コマ	単位数	1 単位
授業目標	14. 地域経済の仕組みについて理解する。 15. 課題を発見し、解決策を考える。						
授業概要	データを基に現在と将来の経済予測を立ててみる。 地域経済の課題と解決策を話し合う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	2回・後期	回
	評定方法 レポートの内容とプレゼン発表、平常点によって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	企業体験実習Ⅱ		教育内容	企業体験実習Ⅱ			実習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	16. 企業での実践により、学んできたことを活かす。 17. 自分の能力を知り、更なる高みを目指す。						
授業概要	インターンシップ 実際の場で、現場のプロから指導を受ける。（事前指導1コマ、事後指導1コマを含む）						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 企業からの評価と出席率による。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 企業等担当者の実務経験 企業担当者が実務経験を活かして職業観や職務内容について教授						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	簿記理論Ⅱ		教育内容	簿記理論Ⅱ			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	40 コマ	単位数	2 単位
授業目標	18. 工業簿記の知識を習得する。 19. 全経簿記1級（原価計算・工業簿記）程度の問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に基礎から簿記についての知識を学んでいく。 小テストも行いながら、習得どの確認をしていく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
評価方法	評定方法 定期試験結果と平常点（検定試験結果を含む）をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	桑原知之「全経簿記能力検定試験公式テキスト1級原価計算・工業簿記」（ネットスクール） 桑原知之「全経簿記能力検定試験公式問題集1級原価計算・工業簿記」（ネットスクール）						

教育科目	経営学Ⅱ		教育内容	経営学Ⅱ			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	20. 経営学の基礎知識を習得する。 21. 実社会にて活かされている理論を見つける。						
授業概要	テキストを使用し、経営学を体系的に学ぶ。 ビジネスの現場における経営学の理論の実例を知る。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
評価方法	評価方法 定期試験と平常点をもって評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有						
使用 テキスト等	上林憲雄、奥林康司「経験から学ぶ経営学入門」(有斐閣)						

教育科目	ビジネスプラン・演習Ⅱ		教育内容	ビジネスプラン・演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	22. ビジネスプランの提案法を習得する。 23. ビジネスプランを発表できるようになる。						
授業概要	ビジネスプランの提案法を学ぶ。 プレゼン能力を高めていく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1 回
評価方法	評価方法 プレゼンの内容と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	地域経済プロジェクト・演習 D		教育内容	地域経済プロジェクト・演習 D		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	35 コマ	単位数 2 単位
授業目標	24. 地域経済におけるプロジェクトの運営法(応用)を習得する。 25. 企画・計画に沿ったプロジェクトを実行する力を高める。					
授業概要	プランの精度を上げるためのディスカッションを行い、プロジェクトに反映していく 1年生の指導を行い、次世代のリーダー育成のための能力を高めていく。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
評価方法	評価方法 レポート内容とプレゼン発表、平常点によって評価を行う					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリント					

教育科目	地域経済演習Ⅳ		教育内容	地域経済演習Ⅳ			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	26. 実際のデータから経済動向を読み取れるようになる。 27. 経営者や企業の考えに触れることで幅広い知見を獲得する						
授業概要	最新の地域経済の状況を把握する 地元企業を招いて講演会を開催する						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2回
	評定方法 レポートの内容とプレゼン発表、平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	IT パスポート試験		教育内容	IT パスポート試験			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	28. IT の基礎知識を習得する。 29. IT パスポート試験問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストなどで IT の基礎知識を学ぶ。 IT パスポート試験問題をする。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト 前期 回・後期 回			前期 回・後期 回			
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	富士通エフ・オー・エム株式会社「よくわかるマスター令和 4～5 年度版 IT パスポート試験対策テキスト&過去問題集」(FOM 出版)						

教育科目	コンピュータ会計		教育内容	コンピュータ会計			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	30. 会計ソフトを用いて決算書が作成できる。 31. 簿記の知識を会計ソフトに反映できる。						
授業概要	会計ソフトの仕組みを理解する。 会計ソフトに実際に入力する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 会計ソフトの入力状況と平常点をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	弥生「コンピュータ会計 基本テキスト」(実務出版) 弥生「コンピュータ会計 基本問題集」(実務出版)						

教育科目	キャリア演習Ⅱ		教育内容	キャリア演習Ⅱ・人間性と社会性Ⅱ		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。 3. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 4. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。					
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリント等					

教育科目	商業・社会Ⅱ		教育内容	総合体育Ⅲ・企画マネジメントⅡ 総合体育Ⅳ		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	32. マナーの大切さを理解し、集団行動の協調性を養う。 33. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 34. 自ら率先する力を養う。					
授業概要	スポーツ大会、学園祭					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	なし前期	1回・後期 1回
	評定方法 平常点と出席率をもって評価を行う。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリントなど					

教育科目	MOS 演習Ⅲ		教育内容	MOS 演習Ⅲ			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>35. 基本的なパソコン機能を、実務で使いこなせる能力を習得する。</p> <p>36. Word の基本操作を理解し、意図した文章を作成できる。</p>						
授業概要	<p>基本的なパソコン操作を学ぶ。</p> <p>Word の活用方法を学ぶ。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
評価方法	<p>評定方法</p> <p>平常点と出席率をもって評価を行う。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<p>実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する</p>						
使用 テキスト等	本郷 PC 塾「30 レッスンで合格 MicrosoftOffice2016」（技術評論社）						

教育科目	一般教養・演習 I		教育内容	一般教養・演習 I			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	25 コマ	単位数	1 単位
授業目標	37. 就職試験の SPI 試験に対応できる能力(発展)を身につける。						
授業概要	SPI 試験問題を行う。 試験結果を基にした対策を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
評価方法	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	SPI3 対策研究所「大手・人気企業突破 SPI 問題集」(高橋書店)						

教育科目	MOS 演習IV		教育内容	MOS 演習IV			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 2年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>38. 応用的なパソコン機能を、実務で使いこなせる能力を習得する。</p> <p>39. Word の応用操作を理解し、意図した文章を作成できる。</p>						
授業概要	<p>応用的なパソコン操作を学ぶ。</p> <p>Word の積極的な活用方法を学ぶ。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1 回
	<p>評定方法</p> <p>平常点と出席率をもって評価を行う。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	日経 BP 「MOS 攻略問題集 Word2016 エキスパート」(日経 BP 社)						